

## 第20回記録員コンテストを開催！

～ 県記録委員会・記録員コンテスト実行委員会 ～

平成28年2月28日（日）掛川市22世紀の丘公園「たまり～な」多目的ホールにて、標記コンテストが開催された。昨年11月に浜名湖支部での父親大会にて開催を予定していたものの、雨天等により延期。記念すべき第20回目は、DVDによる初の室内コンテストとなった。



公式記録員の資質と記録技術の向上を図り、優秀な記録員の発掘とリーダーの育成、および支部間の記録員の交流による県内記録員のレベルアップを図ることを目的とし、開催を続けている記録員コンテスト。第1種から第3種の記録員が混在して参加するにあたり、第2種、第3種の記録員にはハンディキャップを設けている。記帳の基本となる記号、ヒット・エラー等の正確な判定、交代の記録等に関する採点ポイントをメインとし、服装等や集計時間に対する加点がある。今回は、昨年の日本女子リーグのVTRを見ながら記帳。選手交代のホワイトボードにはサブスクリーンを使用するなど、県記録委員会が趣向を凝らした。

早朝より県下各地から集まった参加者たちは、試合終了後の集計が終わるとスコアカードを提出。午後は、コンテスト実行委員会の内野副委員長が採点ポイントを中心に解説するとともに、平成28年度から変

変更となる点についても説明を加えるなど、伝達研修さながらの講義となった。

注目の結果発表では、第1種のハンディキャップをものともしない高得点で、地元・掛川支部の田邊さんが優勝。第2位には菊川支部の浅井さん、第3位には第2種ながらも大健闘した磐田支部の良知さんが入った。また、努力賞には御前崎支部の水野さんが入った。



県記録委員会・小黒副委員長より優勝楯を授与される田邊さん



県記録委員会・芦澤委員長を中心に  
第20回目のコンテスト参加者およびスタッフ一同

☆優勝した田邊茂幸さんの談話☆

第2種や第3種記録員を育成する場としてのコンテストに変わってきており、もう出場できないかと思っていた矢先だった。「2度目の正直」2回目の参加、しかも地元で念願の優勝を果たせて本当にうれしい。後進の育成はもとより、今後さらに記録技術を磨いていきたい。